



## フィリピンALLC英語研修

### 達成目標

- 英語の4技能を集中的に鍛える!
- フィリピンの社会・文化・歴史を体感する!
- アジアや世界から見た日本について考える

実施期間: 2月中旬～3月下旬 約5週間(予定)

滞在: キャンパス隣接宿舎

### 研修内容

フィリピン・マニラ市近郊のケソン市にあるアテネオ・デ・マニラ大学の言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))において、英語研修を実施します。研修は、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4技能の強化・向上を目的としており、期間中は1日あたり約6時間の英語学習を行います。参加者のレベルに応じてクラス分けされ、様々な国籍や文化的背景をもった人々と同じクラスで学びます。

### 研修先について

アテネオ・デ・マニラ大学 アテネオ言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))

アテネオ・デ・マニラ大学は、1859年に設立されたフィリピンのトップレベルのカトリック系総合大学です。研修先であるALLCは、アテネオ・デ・マニラ大学の人文学部付属するセンターで、世界各国から学生を受け入れており、参加者のレベルに応じた1クラス10名程度の少人数クラスで授業が実施されます。

なお、新潟大学は、アテネオ・デ・マニラ大学と2017年に大学間交流協定を締結しており、より長期の留学を希望する学生は、1～2学期間、交換留学制度により留学することが可能です。

### スケジュール

月火木金: 英語研修(一部水曜日も授業あり)  
土日: 自由行動



地元の人が利用するマーケット



マニラ大聖堂

### フィリピンALLC英語研修のここがオススメ!

フィリピンの公用語は英語で、英語教育の質が高いことに定評があります。経験豊富な教員による充実した授業が、他の英語圏の国々と比較すると非常に安価で受講することができます。英語力を向上させて、より長期の留学を目指す学生にとっては最適な研修の機会となるでしょう。実際に、本プログラムへの参加をきっかけにアテネオ・デ・マニラ大学に交換留学を実現した先輩もあり、他大学への交換留学等にも繋がっています。

研修期間中は、キャンパス隣接の宿舎に滞在します。ケソン市ならびに大学周辺の地域は比較的治安もよく、コンビニや飲食店が充実しています。

今、世界中の企業の中でも東南アジアの国々が注目を浴びています。これから世界へ飛び出そうとしている若者にとって、現地を肌で感じる貴重な経験となります。

### 担当教員から一言

(市橋孝道准教授)

海外の語学研修で英語力を磨きたいけど、金銭面や距離(時差)等のハードルで参加をためらってはいませんか? 本研修は、そのような皆さんの向上心を応援するために設けられています。「英語力を伸ばしたい!」という気持ちに初心者も上級者もありません。海外に出るのが初めての方や既に語学研修に何度か参加したことのある方でも大歓迎です。英語を公用語とするフィリピンでは、日々英語の実践力が試され、授業では高度で正確な英語の運用能力を伸ばすことが可能です。また、授業では、様々な国籍や文化的背景をもった人々と接することになりますので、多様な価値観を知り、グローバルな視野も自然と身につけていくかと思えます。ケソン市ならびに大学周辺の地域は比較的治安もよく、休日には快適な宿舎を出て、ちょっとした観光を楽しんでフィリピンの社会や文化・歴史に触れてもよいでしょう。



修了証を手にクラスメイトと



## シンガポール・スプリングセミナー

### 達成目標

- 留学・国際的素養について考えを深める!
- 多文化共生のための実践力を養う!

実施期間: 2月下旬～3月中旬 約2週間(予定)

滞在: ホテル

※本プログラムの奨学金を希望する場合、第4タームに開講される「準備講座」の履修が必須です。

### 研修内容

午前中の英語研修では、言語教育における豊富な実績で知られるRegional Language Centre (SEAMEO RELC)において、An English Communication Skills Courseを受講します。日本人が比較的不得意とするオーラルコミュニケーションに力を入れたプログラムであり、多民族国家での豊かな教育経験を持つ講師陣が、英語プレゼンテーションの方法について英語で指導します。

午後は日系グローバル企業や大学・公的機関等を訪問し、現地の人々との交流などを通じて、留学や海外勤務について考えを深めます。名門シンガポール国立大学(National University of Singapore, NUS)への訪問も予定されており、日本語を学んでいる現地学生との交流も予定されています。

### 研修先について

SEAMEO RELC

東南アジア教育大臣機構(Southeast Asian Ministers of Education Organization, SEAMEO)とシンガポール政府が共同で設立している、地域言語教育センター

(Regional Language Centre, RELC)、通称SEAMEO RELCは、1968年の創立以来、地域の言語教育とりわけ英語教育において豊富な経験と実績で知られ、留学生から社会人までを指導しています。(注: 研修先は年度ごとに変更の可能性があります。)

### スケジュール

月～金: (午前)英語研修  
(午後)企業等訪問  
土日: 自由行動



シンガポール国立大学にて

### 担当教員から一言

(秋山公平准教授)

シンガポールは非常に小さな都市国家ですが、世界有数のシンガポール港とチャンギ国際空港を擁し、国際ネットワークの「グローバル

ハブ」として発展を遂げました。また、シンガポールは、華人系・マレー系・インド系といった多様な民族が共生する「多民族国家」としても知られており、英語を共通言語として、各民族の平和共存を図るための政策が採用されています。さらに、日本にとっては経済上または安全保障上、非常に重要なパートナーであり、多くの日系企業の投資も惹きつけています。

本セミナーでは、約2週間、(1)現地の語学研修機関において午前中に「語学研修」を実施し、(2)午後は体験学習として①「大手日系企業」や現地で開催する「地元新潟企業」、②国際ランキングで常に上位に位置する「現地の大学」、および③人々の経済活動や生活を支える「政府系機関」を訪問します。語学研修にとどまらず、世界で活躍する人々に直接話が聞けるのが本プログラムの特徴です。

比較的治安もよく、美味しい料理も豊富なシンガポールで英語漬けの毎日を送り、世界で、あるいは国際的な視野で活躍する能力について、現地の人々との交流を通じて考えてみませんか。自分のできなさや経験のなさを恥じる必要はありません。誰も最初は初心者であり、熟達も恐怖に打ち勝つ勇気と根気をもった習練の成果です。皆さんの挑戦を心から歓迎します。

### シンガポール・スプリングセミナーのここがオススメ!

多様な文化が共存する色豊かな美しい国シンガポール。高層ビルの隙間を埋めるように緑が勢よく育ち、街全体に潤いを感じます。また、中国系、マレー系、インド系、アラブ系など多様な人種が共存し、地下鉄を利用すれば、トリリンディア、チャイナタウン、アラブストリートなどへ簡単に行くことができます。寺院やモスク、にぎやかな屋台やマーケットなど、それぞれまるで別の国に行ったかのような雰囲気味わうことができます。シンガポールの発展はめざましく、リゾート・レジャー施設がいくつもオープンし、地下鉄の路線も増え続けています。将来、世界を舞台に活躍したい学生に、ぜひ体験してもらいたいプログラムです。



企業訪問